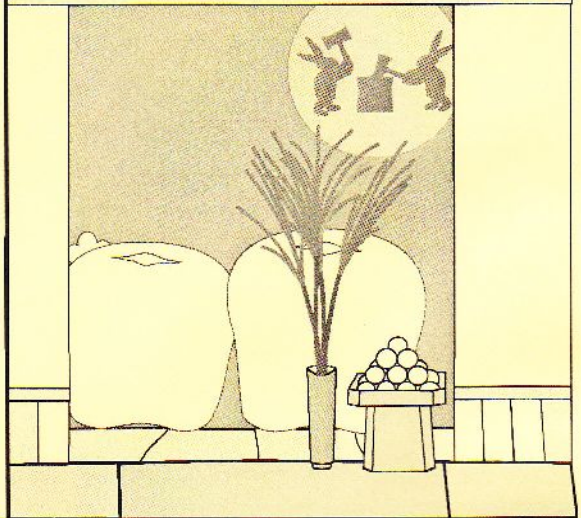
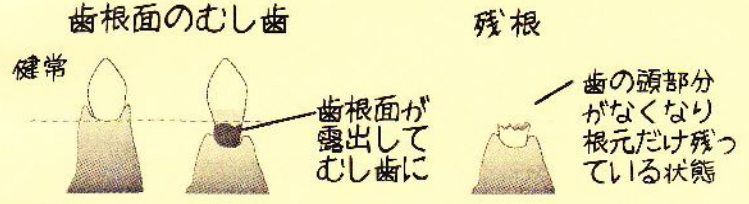


皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？
くまさんデンタルクリニック、院長の北澤和也です。
今月は、「残根(ざんこん)」についてご紹介したいと思いま
す。むし歯を治療しないまま放置したり欠けたりして、歯の頭
部分がなくなり、根っこだけになった状態を残根とします。
高齢者に多く見られ、介護する側も「根っこだけになっているの
だから磨かなくて大丈夫」と思ってしまいがちです。ところが
この残根には食べかすが付きやすく、細菌増殖の温床となります
。特に免疫力の低下した要介護者では、誤嚥性肺炎の高リス
クとなります。残根はそのままでは手入れが難しいので、歯科
医師による適切な処置をした上で、毎日の継続的な清掃が大変
重要となります。



① 要介護高齢者の残根

高齢者では歯周病や歯ブラシによるこすり過ぎが原因で、歯ぐきが退縮し、根元(歯根面)が露出していることがよくあります。露出した歯根面は酸に弱く、むし歯になりやすい部位です。特に要介護高齢者は薬の副作用なども重なって唾液の分泌量が減少して口の中が酸性に傾きやすく、むし歯ができてやすい口腔環境です。体調不良などで歯みがきができないと、短期間で歯根面に多数のむし歯ができてしまいます。このむし歯が進行すると、歯が折れたりして頭部分がなくなり残根となるのです。

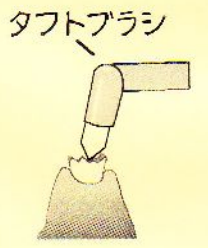


残根の状態にもよりますが、適切な処置をして保存することが望ましいと思います。それは①歯の根っこの周りには感覚受容器が残っているので、物を噛んだ時に感覚が得られること、②根っこが

残っていることで歯ぐきの内部にある歯を支える骨が維持されるため歯ぐきがやせにくく、入れ歯が安定するという2点のメリットがあるからです。

② 残根への対処

- 1 根っこがしっかりしている場合は、むし歯の進行を抑えるため根っこの治療を行い根面にキャップを被せます。残根の長さがある程度残っていれば、差し歯を立てて修復することもあります。
- 2 根っこが化膿していたり残根がグラグラして痛む場合は抜歯します。ただし歯ぐきの切開が必要になりますので、服用薬剤や患者さんの負担を考慮してから行います。
- 3 身体への負担が大きい場合は、抜歯や治療は行わず、定期的に口腔ケアを行います。残根は歯ぐきに埋もれるように残っていたり、根面がデコボコで一般の歯ブラシでは届きにくいいため、タフトブラシなどで磨くことをおすすめします。



◆ 残根は歯科医師による適切な処置を受けて、毎日きれいに清掃しましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療の問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに。。。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

くまさんデンタルクリニック

診療時間 平日9:00~19:30 土・日9:00~13:00
診療科目 一般歯科 小児歯科 予防歯科
訪問歯科
休診日 火・祝日 院長 北澤 和也
市原市白金町3-4-4
☎0436-26-3666 FM 0436-26-3667
http://www.kumasan-dent.com